



KOURAKUEN
CORPORATION



2024年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社 幸 楽 苑
代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 新 井 田 傳
(東証プライム コード番号 7 5 5 4)
問い合わせ先 専務取締役 渡 辺 秀 夫
T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1

2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想と 実績値との差異等のお知らせ

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）業績予想と、本日公表の実績数値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績予想と実績値の差異（2024年4月1日～2024年9月30日）
連結業績予想数値との差異（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	13,000	250	200	100	6円36銭
実績値(B)	13,713	427	403	512	32円59銭
増減額 (B-A)	713	177	203	412	—
増減率 (%)	5.5%	70.8%	101.5%	412.0%	—
(ご参考) 前期実績 (2024年3月期 第2四半期累計 (中間期))	13,063	△409	△421	△253	△16円62銭

2. 差異の理由等

当第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、当社グループ方針「外食の原点である魅力ある商品作りとQSCの向上」に基づき事業運営を行って参りました。「魅力ある商品作り」においては、毎月期間限定商品を販売しSNS等を用いたデジタルマーケティングによりお客様へ来店訴求を行いました。「QSCの向上」については、本部及びエリアマネージャーによる細部にわたる指導を行い、お客様の満足度を高める取り組みを行いました。

以上の取り組みにより、当第2四半期（中間期）連結業績が公表予想を上回ることとなりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、当第2四半期（中間期）連結業績が公表予想を上回ったことにより繰延税金資産の計上を行うと共に、法人税等調整額を△231百万円を計上したことにより税金費用が減少したため中間純利益が増加しました。

なお、2025年3月期通期業績見通しにつきましては、本日公表「非連結決算への移行及び2025年3月期個別業績予想修正に関するお知らせ」をご覧ください。

以 上